平成30年第1回教育委員会議事録

| | 平成 30 年第 1 回教育安貝宏議事嫁 |
|------------|-----------------------------------|
| 項目 | 内 容 記 録 |
| 1.期 日 | 平成 30 年 1 月 9 日 (火) 13:30 開会 |
| 2. 場 所 | 日野町役場 第1会議室 |
| 3. 開会 (閉会) | 13:30~14:30 |
| 4. 出席委員等氏名 | 頭本元文、生田一女、景山美由紀、生田 進、長谷川弘信 |
| 5. 教育長あいさつ | ・金持神社の参拝客 例年より少なめだが賑わった、「金持テラス |
| | ひの」にも多くの来客があった。宝くじの売れ行きも良好。 |
| | ・1 月臨時議会 1/9 教委より債務負担行為について提出。 |
| | 町長再出馬の意向について説明あり。 1/30 告示 |
| | ・本日、始業式であったがスムーズに3学期が始まった。 |
| 6. 教育長事務報告 | |
| 課長 | ・(1) 行事等について 別紙① 教育長から説明お願いします。 |
| 教育長 | ・1/9 教育委員会 |
| | 1/18 西部町村教育委員会連絡協議会研修会 |
| | 2/18 西部地区町村社会教育研究大会 日野町文化センター |
| | ・人事関係 ヒアリング開始 |
| | 黒坂小 校長退職 |
| | 根雨小 特別支援学級の減による定数減 |
| | |
| 課長 | •(2) 一般報告 |
| | 1) 平成30年度の休業日について 資料1 説明 |
| | H30 4/6 始業式 |
| | 4/9 入学式 午前 小学校 午後 中学校 |
| | 7/20 終業式 |
| | 8/28 始業式 |
| | 12/21 終業式 |
| | H31 1/8 始業式 |
| | 3/22 修了式 |
| | 2) 債務負担行為について 資料 2 説明 |
| | 1/9 午前 臨時議会へ上程 |
| | 特別支援学校通学送迎リース H30~34 限度額 4,400 千円 |
| | 来年度から特別支援学校(県立養護学校)に通学する児童、 |
| | 生徒が2名となるため、現在4人乗りの支援車を3列乗車で |
| | きる車に替えることが必要。入札後、納車までの期間がかか |
| | るため事前に債務負担行為をし入札するもの。 |
| | 通学支援車の運転手 松本進氏が体調不良のため、濁谷の松本 |
| | 昭博氏、本郷の川上博史氏を任命。往路を松本氏、復路を川上 |
| | 氏に運転依頼。任用期間 1/9~3/31 |

- 3) 第 18 回公民館まつり 12/8~10 入場者延べ 337 名 4) 日野町生涯まちづくり大会 12/10 入場者 110 名 内容:表彰式、発表、健康講座・活動報告、講演会 選挙により日程変更、来年度は 10 月下旬開催予定。 7. 議事 課 長 ・なし
- 8. 協議 課 長

・1) 日野町いじめ防止基本方針の改定について 資料3 説明 (案) 平成30年1月改訂

H29.3.16 国は「いじめの防止等のための基本的な方針」を改定「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」策定。

課題 いじめの認知、組織的な対応、重大事態に対する危機意 識

おもな改正点、追加事項

はじめに

町の方針を地域、学校に保育所を加えた実情に応じた内容に 見直し、取組を強化する。

I.いじめの定義と認知

〈積極的ないじめの認知〉ささいな兆候に疑いを持ち、早い段 階から的確に関わりを持つ。

いじめの認知は特定な者が行うことなく、組織で行う。

具体的ないじめの態様 8項目掲載

- Ⅱ.いじめに対する基本的な認識
 - 2 いじめ防止への取組 全ての幼児児童生徒を対象としたいじめの未然防止の観点が重要。
 - 3 組織的な対応
 - 4 積極的ないじめの認知への考え方
 - 5 幼児児童生徒のいじめ問題への理解
 - 6 保護者・家庭における認識
 - 7 保育所、学校関係者と地域、家庭との連携
 - 8 大人が子どもに与える影響 大人の「心豊かで安全・安心な社会をつくる」という認識の共有が不可欠。
- Ⅲ. いじめ防止のための方針と組織
- IV. 未然防止の取組
- V. 早期発見
- VI. 早期対応・事案対処
- VII. 重大事態への対処等
- P15 差し替え

方針の図式化 別添資料説明

日野町、学校(未然防止、早期対応・事案対処、重大事態への対処)の対応を図式化

| 教育長 | ・平成26年度、日野町はいじめは0であった。いじめの定義に照 |
|------------|-----------------------------------|
| V.144. | らして再調査したが、0 だった。平成 28~29 年度は、若干認知 |
| | されている。 |
| | 子ども同士の話合い等によりいずれも解決していると認識。 |
| 課長 | ・今年度もいじめ事案があるが、すぐに対応し解決して保護者に |
| H/K 🗡 | も報告している。小さなことでもいじめと認識して組織で対応 |
| | していく。 |
| 生田進 | ・苦痛を感じたらいじめと判断するようにしたため、件数が増加 |
| | したが、早期対応により重大な事態を未然に防ぐことができる。 |
| 生田一 | ・子どもと先生の信頼関係が大事。子どもの発信を先生は見逃さ |
| | ないようにしてほしい。 |
| 頭本 | ・高校でもたくさんのいじめ案件があったが、授業を中断して取 |
| | り組むシステムであった。 |
| 教育長 | ・いじめが表面化していくことで、埋もれていかないように。 |
| 景山 | ・スマホなどの活用により、友人関係も分かりにくくなっている。 |
| | どこまで保護者として介入したらよいか。 |
| 生田一 | ・家庭の責任を果たすべき。 |
| 生田進 | ・ネット社会の中で、見えないところに問題が根深く残る。 |
| 頭本 | ・買い与えるときには保護者が子どもにきちんと話をすべき。 |
| 砂流 | ・ラインも削除できるようになり、証拠が残らないと把握が困難 |
| | になる。 |
| | 子どもへの教育、保護者への啓発をしっかりする必要がある。 |
| 景山 | ・使い方によっては良いものにも悪いものにもなる。 |
| 生田一 | ・道徳観が原点。具体的な啓発活動を続けていくことが大事。 |
| 9. その他 課 長 | ・1) 平成29年度合同研修会(社会教育)への参加について |
| | 資料 4 1/18 ヴィレステひえづ 12:50 役場出発 |
| | 座談会 日野町教委 田貝 発表 |
| | ・その他 |
| | 教育行政連絡会議 議事録 11、12月分資料添付 |
| | コミュニティ・スクール情報 5号 1/20 自治会全戸配布 |
| | ・次回教育委員会定例会について |
| | 平成30年2月2日(金)午後1時30分~ 第1会議室 |
| | (14:30 委員会終了) |
| | 平成30年2月2日(金)午後1時30分~ 第1会議室 |

平成 30 年 1 月 9 日